

**製品名: PLC  $\beta$ 3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16247**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	140kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PLCB3
別名	PLCB3; 1-phosphatidylinositol 4; 5-bisphosphate phosphodiesterase beta-3; Phosphoinositide phospholipase C-beta-3; Phospholipase C-beta-3; PLC-beta-3
遺伝子 ID	5331.0
SwissProt ID	Q01970
免疫原	抗血清はヒト PLC $\beta$ 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 503-552

**背景**

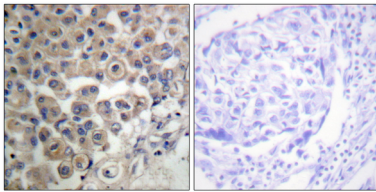
この遺伝子は、G タンパク質結合受容体を介したシグナル伝達においてホスファチジルイノシトールから二次メッセンジャーである

ジアシルグリセロールとイノシトール 1,4,5-三リン酸の生成を触媒するホスホイノシチド ホスホリパーゼ C ベータ酵素ファミリーのメンバーをコードします。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性:1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 4,5-ビスリン酸 + H(2)O = 1D-ミオイノシトール 1,4,5-トリスリン酸 + ジアシルグリセロール。補因子:カルシウム。機能:セカンドメッセンジャー分子であるジアシルグリセロール(DAG)とイノシトール 1,4,5-トリスリン酸(IP3)の生成は、活性化ホスファチジルイノシトール特異的ホスホリパーゼ C 酵素によって媒介される。類似性:1つのC2ドメインを含む。類似性:1つのPI-PLC X ボックスドメインを含む。類似性:1つのPI-PLC Y ボックスドメインを含む。サブユニット:SHANK2 と相互作用する(類似性による)。 LPAR2 と対話します。、

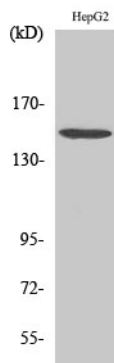
## 研究分野

幹細胞経路; WNT; WNT-T 細胞;  $\beta$ -カテニン; AMPK

## 画像データ



PLC beta3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



PLC  $\beta$ 3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析